



## LATEX

Molecular Allergology

ImmunoCAP  
ALLERGEN COMPONENTS

より正確な



ラテックスアレルギー診断のために  
イムノキャップ アレルゲンコンポーネント  
k220 Hev b 6.02 (ラテックス由来)

**Thermo**  
SCIENTIFIC

# ラテックスアレルギー診断に有用な 「Hev b 6.02\*」に対する 特異的 IgE が測定出来るようになりました。

\*「ヘビーロクテンゼロニ」と呼びます

従来のイムノキャップ「ラテックス」では、ラテックスアレルギーではない方を陽性に判定してしまうことがある、という課題がありました。



ラテックスの一成分であるHev b 6.02の特異的IgEを測定することで、ラテックスアレルギーではない方の多くを陰性として判定可能です。

## Hev b 6.02とは？

天然ゴムラテックスに含有されるアレルゲンタンパクの一つです。医療従事者に代表される、日常的にラテックス製品に接触することでアレルギーを発症するラテックスアレルギーの主要アレルゲンとされています<sup>1)</sup>。

イムノキャップ「ラテックス」と「Hev b 6.02」の両方が陽性となる患者さんは、ラテックスアレルギーの可能性が高いと言えます。

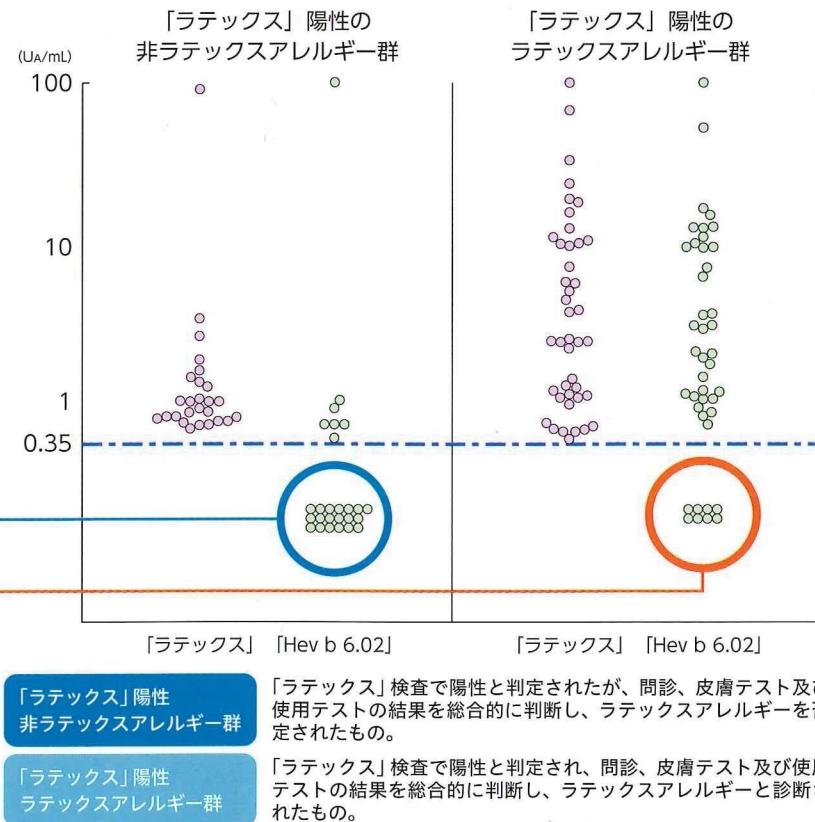
図 イムノキャップ「ラテックス」で陽性と判定された群における「Hev b 6.02」の抗体価の分布<sup>2)</sup>

### 臨床的特異度に優れます

「Hev b 6.02」は「ラテックス」検査で陽性と判定されたものの、本来症状がない方の多くを陰性として判定可能です。

### 注意すべき点

ラテックスアレルギーと診断され、かつ「ラテックス」検査で陽性と判定された患者さんの19%を陰性として判定していることから、「Hev b 6.02」検査だけではこういった患者さんを見落してしまう可能性があります。



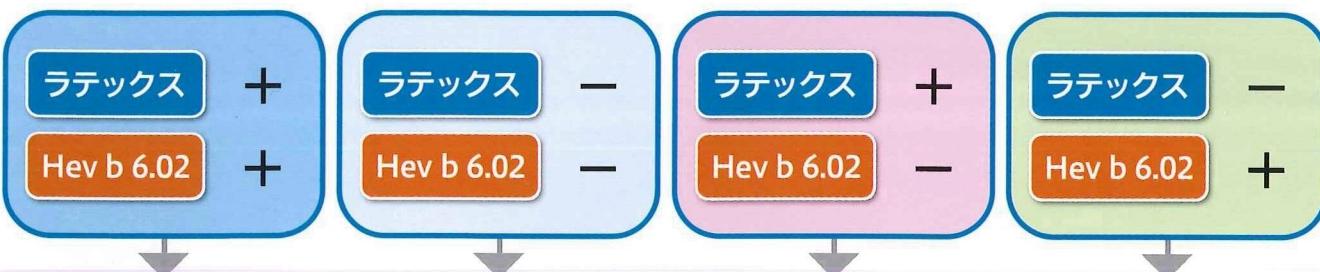
ラテックスアレルギーが疑われる患者さんには、  
イムノキャップ「ラテックス」と「Hev b 6.02」を組み合わせてご使用下さい。

# ラテックスアレルギー診断の流れ

問診で天然ゴム製品による即時型アレルギー反応を認める。

## イムノキャップ「ラテックス」「Hev b 6.02」

+ : 0.35U<sub>A</sub>/mL以上 - : 0.35U<sub>A</sub>/mL未満



ラテックスアレルギーである可能性が高い

皮膚テスト・使用テスト\*による精査、もしくは専門施設に患者さんをご紹介下さい。

近年、即時型アレルギーではない、加硫促進剤など手袋に残留する化学物質によるアレルギー性接触皮膚炎が増加しており、その場合にはIgEが関与しないとされています。

\*使用テスト：天然ゴム製品を着用することにより、即時型アレルギー反応が誘発されるかどうかを調べるテスト

注意事項：測定結果だけで判断せず、必要に応じて皮膚テストや使用テストの実施を検討し、臨床所見も含めた総合判断で診断を行って下さい。

## 疫学調査

1~6%の一般の人々、3~12%の医療従事者においてラテックスアレルゲンに感作が成立していると考えられています<sup>3)</sup>。

## ハイリスク集団

日本ラテックスアレルギー研究会では、ラテックスアレルギーを起こしやすいグループ（ハイリスクグループ）を、アレルゲンとの接触とアレルギーを起こしやすい体質によって決まってくるとして次のように定義しています<sup>4)</sup>。

- ① 医療従事者
- ② アトピー体質の人
- ③ 繰り返し医療処置を受けている患者
- ④ ラテックス製手袋の使用頻度が高い職業の人

## 主な臨床症状

### 接触蕁麻疹

ラテックス製手袋などを使用した際に、数分以内に痒み、紅斑、膨脹などが生じます。アレルギー反応が強い場合、水疱を生じ、接触した皮膚以外にも皮疹が広がったり血管浮腫を起こすことがあります。ラテックスアレルギーにおいて最も多い症状と言えます。アナフィラキシーをおこすこともあります。



### 粘膜浮腫

ラテックス製カテーテルや歯科用ラバーダム、手袋などの医療用具が消化管、口腔などに接触した際に粘膜搔痒感、痛み、違和感、浮腫などが起こります。全身性に広がることもあり、稀にアナフィラキシーをおこすことがあります。

この他にもラテックス製手袋に付着したパウダーを吸入することで喘息発作や鼻炎を発症することがあります。

また、口腔アレルギー症候群に関しましては裏面の製品に関するQ&Aをご参考ください。

監修 松永 佳世子 先生

藤田保健衛生大学医学部  
皮膚科学講座 教授



# イムノキャップ アレルゲンコンポーネント k220 Hev b 6.02 (ラテックス由来)

# Q&A

## Q1. ラテックスアレルギー疑いの患者さんに検査をする場合、「Hev b 6.02」だけで良いでしょうか？

A イムノキャップ「ラテックス」も一緒に検査されることをお勧めします。なぜならば Hev b 6.02 以外のタンパクに感作され症状を発症するラテックスアレルギー患者さんもいると報告されており<sup>5)</sup>、そういった患者さんは「Hev b 6.02」検査だけでは陰性となる可能性があります。

## Q2. イムノキャップで「ラテックス」陽性かつ「Hev b 6.02」陽性となった患者さんをラテックスアレルギーとして診断して良いでしょうか？

A 両項目の検査結果が陽性であればラテックスアレルギーである可能性は高いと言えますが、最終的な診断は臨床所見や、必要に応じて皮膚テストや使用テストを実施した上で医師による総合判断で行って下さい。

## Q3. ラテックス製品を使用することによって引き起こされる皮膚症状はラテックスアレルギー以外にどんなものがありますか？

A 「ラテックスアレルギー」は IgE が関与する即時型アレルギーをさしますが、それ以外に刺激性接触皮膚炎やアレルギー性接触皮膚炎といった症状があります。刺激性接触皮膚炎はラテックス製品に含まれているパウダーや、製造過程で添加される添加剤などによってひきおこされる、免疫反応でない皮膚炎です。また、アレルギー性接触皮膚炎はラテックス製品の製造過程で添加された、加硫促進剤などの化学物質によってひきおこされる、遅延型アレルギーです。

## Q4. ラテックス・フルーツ症候群とはどんな病態ですか？

A ラテックスアレルギーの 30~50%<sup>6)</sup> の患者さんが、ラテックスタンパクと構造が類似している果物や野菜を摂取することによって口腔アレルギー症候群や喘息、蕁麻疹、アナフィラキシーなどを発症することがあると報告されており、ラテックス・フルーツ症候群と呼ばれています。特にアボカド・バナナ・キウイフルーツ・クリなどのトロピカルフルーツでの発症頻度が高いと言われており、注意が必要です。

問診上、果物や野菜摂取後に誘発される即時型アレルギー反応を認め、これら食物に対する特異的 IgE 検査、皮膚テスト、負荷試験の結果で総合的に判断するとされています<sup>7)</sup>。



製品概要	イムノキャップ アレルゲンコンポーネント k220 Hev b 6.02 (ラテックス由来)
使用目的	血清中のラテックスアレルゲンコンポーネント (Hev b 6.02) に対する特異的 IgE の測定 (ラテックスアレルギーの診断補助)
測定結果の判定法	陰 性 : 0.35Ua/mL 未満 (クラス 0) 疑陽性 : 0.35Ua/mL 以上 ~ 0.7Ua/mL 未満 (クラス 1) 陽 性 : 0.7Ua/mL 以上 (クラス 2-6)

### 参考

- 1) Yagami A et al. Allergol Int 58, 347-355, 2009  
2) サーモフィッシャーダイアグノスティックス 社内データ  
3) アレルギー 62(8) 937-941, 2013  
4) ラテックスアレルギー 安全対策ガイドライン 2013; 協和企画, 4-5

- 5) Allergy 52, 873, 1997.  
6) Biochem Soc Trans, 30, 935-40, 2002  
ラテックスアレルギー 安全対策ガイドライン 2013; 協和企画, 15-17



[thermoscientific.com/phadia](http://thermoscientific.com/phadia)

©2015 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific Inc. and its subsidiaries.  
Manufacturer: Phadia AB, Uppsala Sweden.

お問い合わせ先

サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-24-11 NBF上野ビル9F  
Tel : 0120-489-211 / e-mail : info-jp.idd@thermofisher.com

1512-T-681-18

**Thermo**  
SCIENTIFIC  
A Thermo Fisher Scientific Brand